

合格証明書



GODOX WeChat 公式アカウント

深圳市神牛摄影器材有限公司

所在地：深圳市宝安区福海街道塘尾社区耀川工业区工場 2 棟

電話：0755-29609320(8062) FAX:0755-25723423

メールアドレス：godox@godox.com

www.godox.com

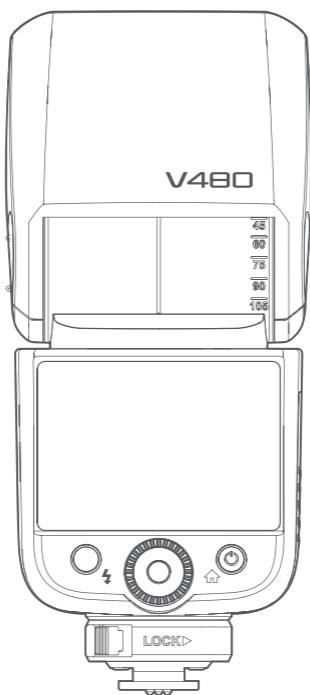
Made in China | 705-V480C0-05



Godox

V480

TTL リチウムイオンカメラトップフラッシュ



取扱説明書

目次

- 01 **本取扱説明書について**
- 02 **重要な安全上のご注意**
- 04 **はじめに**
- 05 **各部の名称**
 - 本体
 - 2 インチタッチスクリーンパネル
- 06 **同梱品**
- 06 **別売アクセサリ**
- 07 **ディフューザーの取り付け**
- 07 **バッテリーの取り付け/取り外し**
- 08 **バッテリー残量表示**
- 08 **カメラフラッシュの取り付け/取り外し**
- 08 **電源管理**
- 09 **Wi-Off モード**
 - M: マニュアルフラッシュ
 - TTL: TTL 自動フラッシュ
 - ZOOM: フラッシュ照射範囲の設定
- 11 **送信機モード**
 - グループ
 - M: マニュアルフラッシュ—フラッシュ出力
 - TTL 自動フラッシュ—フラッシュ露出補正
 - パラメーターの一括調整
 - ZOOM: フラッシュ照射範囲の設定
- 13 **受信機モード**
 - グループ
 - TTL: TTL 自動フラッシュ
 - M: マニュアルフラッシュ
 - フラッシュ出力設定
 - ZOOM: フラッシュ照射範囲の設定
- 14 **その他の機能**
 - シンクモード
 - フォトセル
 - ビーブ音
 - モデリングランプ
 - スクリーンロック
 - マルチフラッシュ
- 18 **ワイヤレス設定**
 - 予備チャンネルのスキャン
 - チャンネル設定
 - ID 設定
 - ワイヤレスシンク
- 20 **メニュー**
- 22 **ワイヤレスフラッシュ撮影 (2.4G ワイヤレス伝送)**
 - TTL: TTL 自動フラッシュモードによるワイヤレス多灯撮影

	M : M マニュアルフラッシュモードによるワイヤレス多灯撮影
	異なるフラッシュモードでのワイヤレス多灯撮影
	マルチフラッシュモードによるワイヤレス多灯撮影
24	その他の用途
	シンクトリガー
	モデリングフラッシュ
	バウンスフラッシュ
	リフレクターを使用した撮影
	ワイドアングルディフューザーを使用した撮影
	バッテリー残量低下警告
26	カメラのメニューによる制御 (V480 C のみ対応)
27	グローバルシャッター同期撮影 (V480 S のみ対応)
29	保護機能
	過熱保護
	その他の保護機能
30	Godox 2.4G での未発光の原因と対処法
	ワイヤレス
31	技術データ
33	トラブルシューティング
34	ファームウェアアップグレード
34	対応カメラ機種

本取扱説明書について

本マニュアルは、カメラおよびカメラフラッシュの電源スイッチが両方ともオンであることを前提としています。

本マニュアルでは以下の警告記号を使用しています：

注意記号 ▲ は撮影トラブル防止のための警告を示します。

メモ記号 ■ は補足情報を提供します。

重要な安全上のご注意

本製品はプロフェッショナル用撮影機材であり、専門技術者のみが操作してください。

製品の輸送保護材および包装は、使用前に必ずすべて取り除いてください。

本製品を使用する際は、以下の基本的な安全上の注意事項を必ず遵守してください。

1. 使用前に取扱説明書をよく読み、内容を十分に理解し、安全上の指示を厳守してください。これを怠ると、重大なけがや製品の損傷、その他の財産被害を引き起こす恐れがあります。
2. 本製品はプロフェッショナル用の照明機器であり、子供の使用は禁止されています。子供が機器に近づく場合は、衝突や不正使用による人身事故を防ぐため、必ず大人が厳重に監督してください。
3. 本機器は一般照明用ではなく、通常の照明器具として使用しないでください。眼に障害や感受性のある方は、本機器の使用や直接の視線を避けてください。
4. 使用時は十分に注意し、フラッシュ管などの高温部に触れないようにして火傷を防いでください。
5. いかなる場合でもフラッシュを直接目（特に乳幼児の目）に向けしないでください。短時間で視力障害を引き起こす恐れがあります。不快感が生じた場合は直ちに電源を切り、使用を中止し、速やかに医師の診察を受けてください。
6. フラッシュ管が破損した場合は直ちに使用を中止し、事故防止のため製造元、サービス代理店、または有資格の修理担当者に連絡して交換してください。
7. 落下、挟み込み、強い衝撃により製品の外装が割れた場合は直ちに使用を中止し、内部の電子部品に触れて感電しないようにしてください。
8. 本機は防水仕様ではありません。本機を乾燥した状態に保ち、水やその他の液体に浸さないでください。換気の良い乾燥した場所に設置し、雨天、多湿、ほこり、過熱環境での使用は避けてください。本機の上に物を置いたり、液体が流れ込むことのないようにして危険を防いでください。
9. 許可なく分解しないでください。製品に不具合が生じた場合は、当社または認定修理担当者による点検および修理が必要です。
10. 保管前に本機が完全に冷却されていることを確認してください。
11. 本機をアルコール、ガソリン、またはメタン、エタンなどの可燃性揮発性溶剤やガスの近くに置かないでください。
12. この機器を爆発の恐れのある環境で使用または保管しないでください。
13. 使用中および使用後は、ランプヘッドと使用者、他の人、熱に敏感な物品や可燃物との間に少なくとも1メートルの距離を保ってください。
14. 当社が承認していないアクセサリは使用しないでください。火災、感電、または人身傷害の原因となる恐れがあります。
15. 乾いた布でやさしく清掃してください。湿った布の使用は機器を損傷する恐れがあるため避けてください。
16. 本取扱説明書は厳密な試験に基づいて作成されています。設計および仕様は予告なく変更される場合があります。最新の取扱説明書および製品情報は公式ウェブサイトでご確認ください。

- 17.本製品はリチウムバッテリーを動力源としており、バッテリーは寿命が限られており、充電能力は徐々に低下し、回復不能です。バッテリーの劣化に伴い、本製品の使用可能時間は短くなります。リチウムバッテリーの寿命はおおよそ2～3年と推定されます。定期的にバッテリーの状態を確認し、充電時間が著しく長くなるか、使用時間が著しく短くなった場合はバッテリーの交換をご検討ください。
- 18.本製品にはリチウムイオンバッテリーが搭載されています。以下は保管に関する推奨事項です：保管前にバッテリーを約50%まで充電してください。少なくとも6ヶ月に一度は約50%まで充電してください。取り外し可能なバッテリーは別々に保管してください。保管温度は0°Cから40°Cの範囲内にしてください。
- 19.リチウムバッテリー使用上の注意：
 - バッテリーを分解、破碎、または穿孔しないでください。
 - バッテリーは防水仕様ではありません。霧や水に浸さないでください。
 - バッテリーの端子を短絡させないでください。
 - バッテリーを火気にさらしたり、火中に投入しないでください。
 - バッテリーを60°C以上の高温にさらさないでください。
 - お子様の手の届かない場所に保管してください。
 - バッテリーを過度の衝撃や振動から保護してください。
 - 損傷したバッテリーは使用しないでください。
 - バッテリーから液漏れがある場合は、漏れた液体に触れないでください。
 - バッテリー液が目に入った場合は、直ちに15分以上水で洗い流してください。まぶたを開けて液体の痕跡がなくなるまで洗浄し、速やかに医療機関を受診してください。
- 20.バッテリーを取り扱う際は、関連するすべての地域の法令および規制を確認し、遵守してください。
- 21.本機器全体の保証期間は1年間です。消耗品（バッテリー等）、アダプター、電源コードおよびその他の付属品は保証対象外です。
- 22.無断修理は保証を無効とし、費用が発生します。
- 23.リチウムバッテリーの状態および電力を受領時に必ずご確認ください。品質に問題がある場合は、保証期間内にGodoxまたは正規販売店へご連絡ください。
- 24.誤った操作による故障は保証対象外です。
- 25.LEDモデリングランプについて：本照明器具に含まれる光源の交換は、製造者またはそのサービス代理店、または同等の資格を有する者のみが行ってください。
- 26.ランプが破損または熱変形している場合は、直ちに使用を中止してください。本機器の点検および修理は、当社または認定サービス担当者のみに行ってください。

はじめに

ご購入いただきありがとうございます。

TTL リチウムイオンカメラフラッシュ V480 は、優れた互換性を備えた TTL 自動フラッシュに最適で、照明条件が頻繁に変わる場合でもこれまでにない撮影の利便性をお楽しみいただけます。主な特徴は以下の通りです：

クイック操作：2 インチのタッチスクリーンと従来のボタンを組み合わせ、明確かつ簡単な操作を実現。

LED モデリングランプ：内蔵の LED モデリングランプは明るさ調整（01 ～ 10）が可能で、光の効果を便利にプレビューできます。

TTL 対応：TTL 自動フラッシュを完全にサポートし、撮影手順を簡素化します。

ワイヤレス制御機能：2.4G ワイヤレスフラッシュトリガーにより、より多彩な撮影が可能です。

プロフェッショナル機能：マニュアルフラッシュ、マルチフラッシュ、高速同期、セカンドカーテン同期、FECなどをサポートしています。

効果的な電源供給：7.2V/2200mAh リチウムバッテリーは、フルパワーで 650 回の発光と 1.7 秒のリサイクルタイムを提供します。

安定した連続撮影：高速連続撮影時でも出力の色と明るさが安定しています。

ファームウェアアップグレード：最新のカメラモデルに対応し、最適な性能を確保するために定期的にファームウェアを更新しています。

カメラ互換性：V480C は Canon カメラに対応しています。V480S は Sony カメラに対応しています。V480N はニコンカメラに対応しています。V480F は富士フイルムカメラに対応しています。V480O はオリンパスまたはパナソニックカメラに対応しています。

各部の名称

本体

1. キャッチライトパネル (白)

2. 内蔵ワイドアングルディフューザー (透明)

3. フラッシュヘッド

4.LED モデリングランプ

5. バッテリー充電表示灯
(充電中は赤、満充電時は緑)

6.USBType-C 充電ポート
(バッテリー充電用)

7. フォトセルセンサー

8. ロックリング

9. ホットシュー

10. シンクコードジャック

11. タッチスクリーン

12.USB-C ファームウェアアップグレードポート (ファームウェア更新用)

13. 電源スイッチボタン

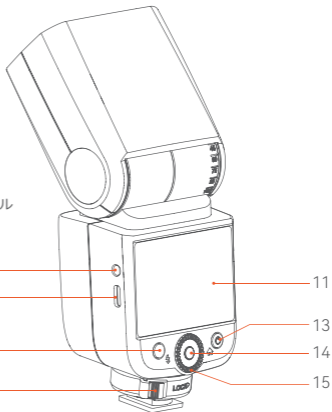
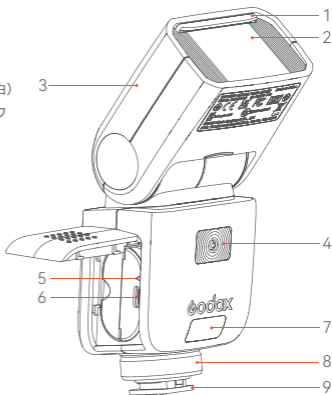
(短押しでモード/戻る画面へ、2回押しで
その他機能画面へ)

14. セットボタン

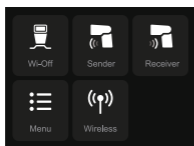
15. セレクトダイヤル

16. テストボタン/リサイクルインジケータ

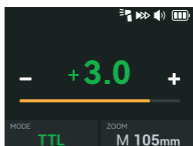
17. ホットシュー固定バックル



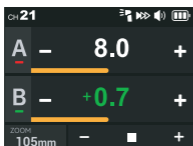
2 インチタッチスクリーンパネル



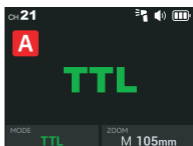
モードインターフェース



Wi-Off モード

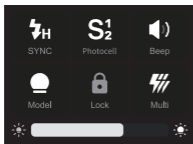


送信機モード



受信機モード

(本インターフェースはV480Cを例にして
います。他のモデルのインターフェ
ースは異なる場合があります)



その他の機能

同梱品



フラッシュ
ユニット × 1



収納袋 × 1



ディフュー
ザー × 1



アダプ
ター × 1



ミニスタ
ンド × 1



リチウムイオン
バッテリー × 1



USB-C 充電ケ
ーブル × 1



取扱説
明書 × 1

別売アクセサリ

本製品は、以下の別売アクセサリと組み合わせて使用することで、
最適な撮影効果を得られます。



フラッシュトリガー
X2T シリーズ



フラッシュトリガー
XProII シリーズ

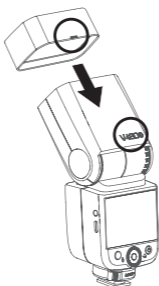


フラッシュトリガー
X3 シリーズ

注意：フラッシュのモデルに応じて、正しいアクセサリをお買い求めください。

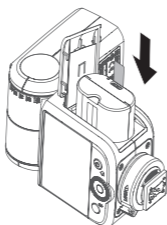
ディフューザーの取り付け

ディフューザーの突起側をフラッシュ本体の「V480」アイコン側に合わせ、適度な力でしっかりと装着されるまで挿入してください。

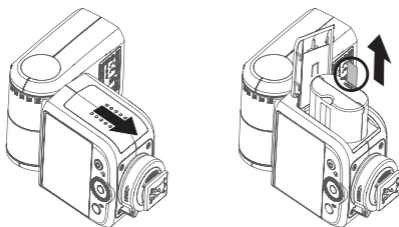


バッテリーの取り付け／取り外し

バッテリーの取り付け:下記の指示に従い、バッテリーをバッテリーコンパートメントにしっかりとロックされるまで挿入し、蓋を閉めてください。



バッテリーの取り外し:下記の指示に従い、バッテリーコンパートメントの蓋をスライドさせ、バッテリーをバッテリーコンパートメントから引き抜いてください。



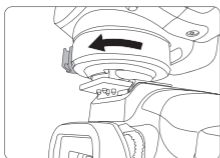
バッテリー残量表示

バッテリーパックがフラッシュに確実に装着されていることを確認してください。LCD パネルのバッテリー残量表示で、バッテリーの残量を確認してください。

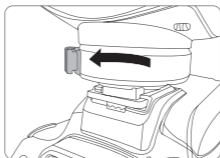
バッテリー残量表示	意味
3グリッド	満充電
2グリッド	中間
1グリッド	低下
グリッドなし	バッテリー残量が少なくなっています。充電してください。
バッテリーなし 警告点滅	バッテリー残量がほとんどなくなっており、この状態ではフラッシュは動作しません。 注意：できるだけ早く（10日以内に）バッテリーを充電してください。その後、バッテリーは使用または長期間保管が可能です。

カメラフラッシュの取り付け／取り外し

カメラフラッシュの取り付け:ホットシュー固定バックルを左に回し、カメラフラッシュをカメラのホットシューに挿入してください。その後、右に回してロックされるまで回してください。



カメラフラッシュの取り外し:ホットシュー固定バックルを押しながら左に回して緩め、カメラフラッシュを取り外してください。

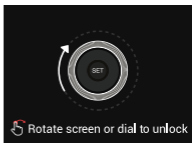


▲ 機器の損傷を防ぐため、フラッシュの取り付けおよび取り外しの際は、必ずカメラとフラッシュの電源を切ってください。

電源管理

電源オン:電源スイッチボタンを長押しし、パネルに <SET> アイコンが表示されたら、画面をスライドするか、パネルに表示された方向にセレクトダイヤルを回して電源を入れてください。

注意：電源オン状態で15秒間操作がない場合、画面のバックライトは自動的に暗くなります。タッチすることで再点灯します。



スタンバイ： Wi-Off /送信モードでスタンバイ機能が有効な場合、一定時間（約90秒）操作がないとフラッシュは自動的にスタンバイモードに入ります。カメラのシャッターを半押しするか、いずれかのボタンを押すことでフラッシュユニットが復帰します。

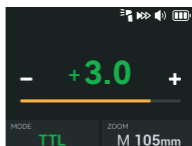
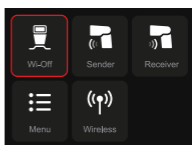
自動電源オフ：

自動電源オフ機能がオンの状態で Wi-Off /送信モードに設定すると、フラッシュは60分（または30分、90分）間操作がない場合、自動的に電源がオフになります。受信モードに設定し、自動電源オフ機能がオンの場合、フラッシュは60分（または30分、90分）間操作がない場合、自動的に電源がオフになります。受信ユニットとしてオフカメラで使用の際は、自動電源オフ機能を手動でオフにすることができます。

Wi-Off モード

タッチスクリーン： 画面を左から右へスライドするとモードインターフェイスが表示され、“Wi-Off”アイコンをタップして Wi-Off モードに入ります。

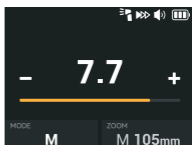
ボタンおよびセレクトダイヤル： 電源スイッチボタンを押してモード画面を表示し、セレクトダイヤルを回して設定ボタンを押すことで Wi-Off モードを選択して決定しま



M:マニュアルフラッシュ

発光出力は1/1から1/256、または2.0から10まで、各ステップ0.1または0.3の増減で調整可能です。正確なフラッシュ露出を得るためにはハンドヘルドフラッシュメーターを使用して必要な発光出力を測定してください。

タッチスクリーン： “MODE”アイコンをタップして M モードに切り替え、- または + アイコンを押すことで、各ステップ±0.1 または±0.3の増減で出力を調整できます。または、進捗バーを直接ドラッグして素早く調整することも可能です。



ボタンおよびセレクトダイヤル： セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押してください。「MODE」アイコンを選択し、さらに回して再度押すことで「M」を選択します。上方向に回してパワー値を選択し、さらに回して押すことで±0.1 または±0.3 刻みでパワーを調整できます。素早く回すことでクイック調整も可能です。

S1 フォトセルユニット設定

M マニュアル発光モードでは、本フラッシュは光学センサーを用いた S1 セカンダリーフラッシュとして動作します。この機能により、メインフラッシュが発光した際に本フラッシュも同期して発光し、ワイヤレストリガーを使用した場合と同様の効果が得られます。これにより、複数のライティング効果を演出することが可能です。

S2 フォトセルユニット設定

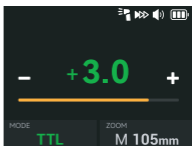
M マニュアル発光モードでは、本フラッシュは光学センサーを用いた S2 セカンダリーフラッシュとしても動作します。これは、カメラにプリ発光機能が搭載されている場合に有効です。この機能を使用すると、フラッシュはメインフラッシュからの単一の「プリ発光」を無視し、2 回目の実際の発光にのみ反応して発光します。

- ▲ 1.S1 および S2 フォトセルによるトリガーは、M マニュアル発光モードでのみ利用可能です。
2. メニュー設定に入り、S1/S2 フォトセルの切り替え、または本機能のオフを行ってください。

TTL : TTL 自動フラッシュ

TTL モードでは、カメラの測光システムが被写体から反射したフラッシュを検出し、被写体と背景が均等に露出されるように発光出力を自動的に調整します。

タッチスクリーン：「MODE」アイコンをクリックして TTL モードに切り替え、「-」または「+」アイコンを押すことで FEC 量を ± 3 の範囲で $\pm 1/3$ ステップずつ調整できます。または、進捗バーを直接操作して迅速に調整することも可能です。



ボタンおよびセレクトダイヤル：セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押して「MODE」アイコンを選択し、さらに回して押すことで「TTL」を選択します。上方向に回して FEC 量を選択し、さらに回して押すことで FEC 量を ± 3 の範囲で $\pm 1/3$ 刻みで調整できます。素早く回すことでクイック調整も可能です。

●カメラのシャッターを半押ししてピントを合わせます。有効なフラッシュ範囲は LCD パネルに表示されます。

ZOOM : フラッシュ照射範囲の設定

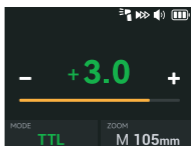
発光カバー範囲は自動または手動で設定できます。自動ズームモードでは、焦点距離がカメラのズームレンズに応じて変化し、最適なフラッシュ効果を提供します。

自動ズームモード : A-mm、発光カバー範囲は自動的に設定されます。

手動ズームモード : 24mm-105mm (V480C/V480S/V480N)、24mm-105mm または 12-52mm (V480O)、24mm-105mm または 16-69mm (V480F)

タッチスクリーン:「ズーム」アイコンをクリックして、自動ズーム(A--mm)モードまたは手動ズームモードを切り替えます。

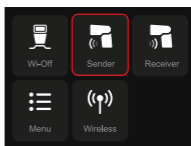
ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回して「ズーム」アイコンを選択し、設定ボタンを押してください。その後、必要なズームモードを選択するために再度ダイヤルを回して押してください。



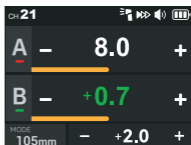
▲ 発光カバー範囲を手動で設定する場合は、レンズの焦点距離を十分にカバーしていることを確認してください。カバー範囲が不足していると、写真の周辺部が暗くなる可能性があります。

送信機モード

タッチスクリーン:画面を左から右へスライドするとモードインターフェースが表示されます。「Sender」アイコンをタップして送信者モードに入り、上方向にスライドするとさらに多くのグループを確認できます。



ボタンおよびセレクトダイヤル:電源スイッチボタンを押すとモードインターフェースが表示されます。セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押して送信モードを選択・決定します。セレクトダイヤルを回すことで、さらに多くのグループを確認できます。送信モードではワイヤレスが初期設定でオンになっています。



(本インターフェースはV480Cを例にしています。他のモデルのインターフェースは異なる場合があります)

グループ

5つのグループ : A、B、C、D、E (V480C)

M、A、B、C、D (V480S / V480N / V4800 / V480F)

M:マニュアルフラッシューフラッシュ出力

タッチスクリーン:グループボックスを長押しすると、M (マニュアル) フラッシュ、TTL 自動発光、OFF の間で切り替えることができます。内部の値が白色の場合、このグループはM (マニュアル) フラッシュモードです。発光パワーは、「-」または「+」アイコンをタップするか、進捗バーを素早くドラッグすることで調整できます。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押して特定のグループを選択・決定します。設定ボタンを長押しすると、M (マニュアル) フラッシュ、TTL 自動発光、OFF の間で切り替えが可能です。内部の値が白色の場合、そのグループはM (マニュアル) フラッシュモードです。発光パワーはセレクトダイヤルを回して調整し、設定ボタンを押すと終了します

TTL 自動フラッシューフラッシュ露出補正

タッチスクリーン:グループボックスを長押しすると、M (マニュアル) フラッシュ、TTL 自動発光、OFF の間で切り替えが可能です。内部の値が緑色の場合、そのグループはTTL 自動発光モードです。フラッシュ補正量は「-」または「+」アイコンをタップするか、進捗バーをスライドすることで素早く調整できます。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押して特定のグループを選択・決定します。設定ボタンを長押しすると、M (マニュアル) フラッシュ、TTL 自動発光、OFF の間で切り替えることができます。内部の値が緑色の場合、そのグループはTTL 自動発光モードです。セレクトダイヤルを回すことでフラッシュ補正量を調整でき、設定ボタンを押すと終了します。

パラメーターの一括調整

タッチスクリーン:「-」または「+」アイコンをタップすると、発光パワーまたはFEC量を一括で増減できます。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押して特定のグループを選択・決定します。設定ボタンを押すと一括調整モードに入り、セレクトダイヤルを回して発光パワーまたはFEC量を一括で増減し、設定ボタンを押すと終了します。

ZOOM:フラッシュ照射範囲の設定

オートズームモードまたはマニュアルズームモード (24mm ~ 105mm) を選択できます。詳細については、上記のWi-Offモードのズームセクションをご参照ください。

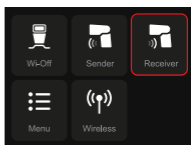
受信機モード

タッチスクリーン:画面を左から右へスライドするとモードインターフェースが表示され、「受信」アイコンをタップすると受信モードに入ります

ボタンおよびセレクトダイヤル:

電源スイッチボタンを押してモード画面を表示し、セレクトダイヤルを回して設定ボタンを押すことで受信モードを選択して決定します

受信モードでは、ワイヤレスが初期設定でオンになります。



グループ

5つの受信グループ：A、B、C、D、E

タッチスクリーン:グループアイコンをクリックしてグループを切り替えます。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回してグループアイコンを選択し、設定ボタンを押してグループ設定に入り、セレクトダイヤルを回してグループを切り替え、最後に再度設定ボタンを押して終了します

TTL:TTL 自動フラッシュ

タッチスクリーン:「MODE」アイコンをクリックして TTL モードに切り替えます。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回して「MODE」アイコンを選択し、設定ボタンを押して MODE 設定に入り、セレクトダイヤルを回して TTL モードに切り替え、最後に再度設定ボタンを押して終了します。

📖 詳細については、上記の Wi-Off モード → TTL 自動発光のセクションをご参照ください。

M:マニュアルフラッシュ

タッチスクリーン:「MODE」アイコンをクリックして M モードに切り替えます。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回して「MODE」アイコンを選択し、設定ボタンを押して MODE 設定に入り、セレクトダイヤルを回して M モードに切り替え、最後に再度設定ボタンを押して終了します。

📖 詳細については、上記の Wi-Off モード → M: マニュアル発光のセクションをご参照ください。

フラッシュ出力設定

M（フラッシュ）モードを選択した場合、発光パワーは 1/256 から 1/1 または 2.0 から 10 まで調整可能です。

タッチスクリーン:「-」または「+」アイコンをクリックするか、プログレスバーをスライドすることで発光パワーを調整できます。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回して発光パワーを選択します。ボックスで設定ボタンを押して発光パワー設定に入り、セレクトダイヤルを回して調整し、最後に再度設定ボタンを押して終了します。

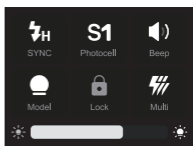
ZOOM:フラッシュ照射範囲の設定

オートズームモードまたはマニュアルズームモー（24mm～105mm）を選択できます。詳細については、上記の Wi-Off モードのズームセクションをご参照ください。

その他の機能

タッチスクリーン:Wi-Off / 送信 / 受信モード時に、画面を下にスライドすると他の機能が表示され、上にスライドするとメイン画面に戻ります。

ボタンおよびセレクトダイヤル:Wi-Off / 送信 / 受信モード時に、電源スイッチボタンを短く 2 回押すと他の機能が表示され、再度押すとメイン画面に戻ります。



シンクモード

⚡H ハイスピードシンクロ

ハイスピードシンクロ（FP フラッシュ）は、すべてのカメラシャッタースピードでフラッシュの同期を可能にします。これは、フィルフラッシュを用いたポートレート撮影で絞り優先を使用したい場合に便利です。

▷▶ 後幕シンクロ

低速シャッタースピードと後幕シンクロを使用することで、被写体の後ろに光の軌跡を作り出すことができます。フラッシュはシャッターが閉じる直前に発光します。

タッチスクリーン:「SYNC」アイコンをクリックしてシンクロモードを切り替えます。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回して「SYNC」アイコンを選択し、設定ボタンを押してシンクロモードを切り替えます。

- ▲ 1. カメラ設定で REAR フラッシュモードを選択してください (V480S / V480N / V480F / V480O の場合)。
2. Nikon カメラで V480N を使用する場合、高速シャッター時は HSS がデフォルトでオンになり、低速シャッター時は HSS がオフになります。

フォトセル

タッチスクリーン: 「Photocell」アイコンをクリックして OFF、S1、S2 を切り替えます。

ボタンおよびセレクトダイヤル: セレクトダイヤルを回し「Photocell」アイコンを選択し、設定ボタンを押して OFF、S1、S2 のいずれかに切り替えます。

- ▲ 詳細については、上記 Wi-Off モードの M : マニュアル発光セクションをご参照ください。

🔊 ビープ音

ビープ音がオンの場合、フラッシュはプロンプト音とともに発光します。

タッチスクリーン: 「ビープ」アイコンをクリックするとビープ音のオン/オフを切り替えます。

ボタンおよびセレクトダイヤル: セレクトダイヤルを回して「ビープ」アイコンを選択し、設定ボタンを押すとビープ音のオン/オフを切り替えます。

● モデリングランプ

タッチスクリーン: 「Model」アイコンをタップしてモデリングランプのオン/オフを切り替えます。モデリングランプが点灯している場合、プログレスバーを下にスライドすることで 1 から 10 まで明るさを調整できます。

ボタンおよびセレクトダイヤル: セレクトダイヤルを回して「Model」アイコンを選択し、設定ボタンを押してモデリングランプのオン/オフを切り替えます。モデリングランプが点灯している場合、プログレスバーを下に選択後、セレクトダイヤルを回して 1 から 10 まで明るさを調整し、設定ボタンを押して確定し、再度設定ボタンを押すと終了します。

🔒 スクリーンロック

タッチスクリーン: 「ロック」アイコンをクリックすると画面ロックが有効になり、2 秒間長押しするとロックが解除されます。

ボタンおよびセレクトダイヤル: セレクトダイヤルを回して「ロック」アイコンを選択し、設定ボタンを押して画面ロックを有効にし、2 秒間長押しするとロックが解除されます。

マルチフラッシュ

マルチ発光モードでスローシャッタースピードを使用すると、連続して高速発光が行われます。これにより、動いている被写体の複数の像を1枚の写真に記録できます。

発光周波数（1秒あたりの発光回数、Hzで表示）、発光回数、および発光出力を設定できます。

発光出力範囲：1/256～1/4 または 2.0～8.0。

発光回数：1～100

発光周波数：1～100

ズーム範囲：オートズームまたはマニュアルズーム。

タッチスクリーン：「マルチ」アイコンをクリックするとマルチ発光のオン/オフを切り替えます。マルチ発光がオンのとき、画面を上をスライドすると各種パラメーターを調整できます。「Times」の前の数字をスライドすると発光回数を、「Hz」の前の数字をスライドすると発光周波数を調整できます。「-」または「+」アイコンをクリックすると発光パワーを調整でき、「ズーム」アイコンを押し下げるとズーム設定画面に入り、自動ズームまたはマニュアルズームを選択し、ズーム値を調整します。最後にリターンアイコンを押すとマルチ発光画面に戻ります

ボタンおよびセレクトダイヤル：セレクトダイヤルを回して「マルチ」アイコンを選択し、設定ボタンを押すことでマルチ発光のオン/オフを切り替えます。マルチ発光がオンのとき、電源スイッチボタンを押すとパラメーター画面が表示され、セレクトダイヤルを回すことで発光パワー、発光回数、発光周波数、ズーム値のすべてを調整できます。最後に再度設定ボタンを押すと終了します。

シャッタースピードの計算

マルチ発光中は、発光が終了するまでシャッターは開いたままになります。

下記の式を用いてシャッタースピードを算出し、カメラで設定してください。

$$\text{発光回数} \div \text{発光周波数} = \text{シャッタースピード}$$

例えば、発光回数が10回、発光周波数が5Hzの場合、シャッタースピードは少なくとも2秒に設定してください。

▲ フラッシュヘッドの過熱および劣化を防ぐため、マルチ発光を連続で10回以上行わないでください。10回連続使用後は、カメラフラッシュを少なくとも15分間休ませてください。マルチ発光を連続で10回以上行おうとすると、フラッシュヘッドを保護するため自動的に発光が停止する場合があります。この場合は、カメラフラッシュを少なくとも15分間休ませてくださ

1. マルチ発光は、暗い背景に対して高い反射率を持つ被写体で最も効果的です。
2. 三脚および TTL フラッシュトリガー XPROII のご使用を推奨いたします。
3. マルチ発光では、発光出力 1/1 および 1/2 は設定できません。
4. マルチ発光は「buLb」モードでもご使用いただけます。
5. ハイスピードシンクロモードではマルチ発光モードを設定できません。
6. ご使用にならない場合はマルチ発光をオフにしてください。そうしないと、TTLフラッシュおよびMフラッシュがご利用いただけません。

連続発光の最大時間

発光回数 発光出力	発光 周波数 (Hz)	1	2	3	4	5	6-7	8-9
1/4		8	6	4	3	3	2	2
1/8		14	14	12	10	8	6	5
1/16		30	30	30	20	20	20	10
1/32		60	60	60	50	50	40	30
1/64		90	90	90	80	80	70	60
1/128		100	100	100	100	100	90	80
1/256		100	100	100	100	100	90	80

発光回数 発光出力	発光 周波数 (Hz)	10	11	12-14	15-19	20-50	60-100
1/4		2	2	2	2	2	2
1/8		4	4	4	4	4	4
1/16		10	8	8	8	8	8
1/32		20	20	20	18	16	12
1/64		50	40	40	35	30	20
1/128		70	70	60	50	40	40
1/256		70	70	60	50	40	40

ワイヤレス設定

タッチスクリーン: 画面を左から右へスライドするとモードインターフェースが表示されます。「ワイヤレス」アイコンをタップしてワイヤレスモードに入ります。その後、左から右へスライドしてメインインターフェースに戻ります。

Channel	ID
28	28
29	29
30	30
SCAN	SYNC

ボタンおよびセレクトダイヤル: 電源スイッチボタンを押すとモード画面が表示されます。セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押してワイヤレスモードを選択し、決定してください。電源スイッチボタンを短く押すと、メイン画面に戻ります。

予備チャンネルのスキャン

予備チャンネルをスキャンすることで、他者が同じチャンネルを使用した際の干渉を回避できます。

タッチスクリーン: 「SCAN」アイコンをクリックしてスキャンを開始すると、8つの予備チャンネルが表示されます。ご希望のチャンネルをクリックしてください。

ボタンおよびセレクトダイヤル: セレクトダイヤルを回して「SCAN」アイコンを選択してください。次に設定ボタンを押してスキャンを開始すると、8つの予備チャンネルが表示されます。セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押してご希望のチャンネルを選択してください。

チャンネル設定

近くに他のワイヤレスフラッシュシステムがある場合は、ワイヤレスチャンネルを変更して信号干渉を防止してください。送信ユニットおよび受信ユニットのワイヤレスチャンネル(01-32)は同一に設定してください。

タッチスクリーン: 「Channel」ボックスをスライドして、ご希望のチャンネルを選択してください。

ボタンおよびセレクトダイヤル: セレクトダイヤルを回し「Channel」ボックスを選択し、設定ボタンを押してチャンネル設定に入ります。セレクトダイヤルを回し、設定ボタンを押してご希望のチャンネルを選択し、最後に設定ボタンを押して終了してください。

ID 設定

干渉を避けるため、ワイヤレス ID を変更してください。送信ユニットと受信ユニットのワイヤレス ID (OFF/01-99) が同じに設定されている場合のみ、トリガーされます

タッチスクリーン:「ID」ボックスをスライドして ID をオフにするか、ご希望の ID を選択してください。

ボタンおよびセレクトダイヤル:セレクトダイヤルを回して「ID」ボックスを選択し、設定ボタンを押して ID 設定に入り、セレクトダイヤルを回して設定ボタンを押し、ご希望の ID を選択し、最後に設定ボタンを押して終了します。

ワイヤレスシンク

ワイヤレス同期機能により、送信機と受信機が同一のチャンネルおよび ID を迅速に設定できます。

受信機ワイヤレス同期

前提条件:

- 1.V480 を送信モードに設定し、パネル上の「Sender」アイコンが黄色であることを確認してください。
2. レトロカメラフラッシュ LuxMaster を受信機として想定します。

タッチスクリーン:V480 と LuxMaster の両方で「SYNC」アイコンをタップしてください。

ボタンおよびセレクトダイヤル:V480 のセレクトダイヤルを回して「SYNC」アイコンを選択し、設定ボタンを押してください。LuxMaster のセレクトダイヤルを回して「SYNC」アイコンを選択し、SET ボタンを押してください。

送信ユニット ワイヤレス同期

前提条件：

- 1.V480 を受信モードに設定し、パネル上の「受信」アイコンが黄色で表示されていることを確認してください。
2. フラッシュトリガー X3 を送信ユニットとして設定します。

タッチスクリーン: V480 と X3 の両方で「SYNC」アイコンをタップしてください。

ボタンおよびセレクトダイヤル: V480 のセレクトダイヤルを回して「SYNC」アイコンを選択し、設定ボタンを押してください。X3 のセレクトダイヤルを回して「SYNC」アイコンを選択し、セレクトダイヤルを押してください。



送信ユニットと受信ユニットの両方が V480 の場合、ワイヤレス同期も利用可能です。

メニュー

タッチスクリーン: 画面を左から右にスライドしてモード画面を表示し、「メニュー」アイコンをタップしてメニュー画面に入ります。その後、左から右へスライドしてメインインターフェースに戻ります

ボタンおよびセレクトダイヤル: 電源スイッチボタンを押してモード画面を表示し、セレクトダイヤルを回して設定ボタンを押すことで、メニュー画面を選択して入ります。電源スイッチボタンを短く押すと、メイン画面に戻ります。

モデルごとにメニューの順序が異なるため、具体的な順序は実際の製品モデルに準じます。以下ではメニュー機能のみを説明します。

アイコン	機能	オプション	説明	
	送信ユニットフラッシュ (V480Cのみ対応)	オフ	送信側フラッシュオフ	
		オン	送信側フラッシュオン	
	電源タイプ	1/256	0.1	最小出力ステップは 1/256 で、0.1 または 0.3 刻みで選択可能です。
			0.3	
		20	0.1	最小出力ステップは 2.0 で、0.1 または 0.3 刻みで選択可能です。
			0.3	
	TCM	オン	TTL モードのフラッシュ値を M モードの出力値に変換できます。	
		オフ	この機能をオフにします。	

アイコン	機能	オプション	説明
	m/ft	m	メートル
		ft	フィート
	スタンバイ	オン	設定した時間 (90 秒) 操作がない場合、自動的にスタンバイ状態になります。
		オフ	設定された時間 (90 秒) のアイドル状態後、自動的にスタンバイしません。
	自動オフ	オフ	自動電源オフ機能を無効にする
		30 分	1. スタンバイ機能がオフの状態での Wi-Off / 送信モードに設定すると、フラッシュは 30 分間アイドル状態が続いた後、自動的に電源がオフになります。 2. 受信モードに設定すると、フラッシュは 30 分間アイドル状態が続いた後、自動的に電源がオフになります。
		60 分	1. スタンバイ機能がオフの状態での Wi-Off / 送信モードに設定すると、フラッシュは 60 分間アイドル状態が続いた後、自動的に電源がオフになります。 2. 受信モードに設定すると、フラッシュは 60 分間アイドル状態が続いた後、自動的に電源がオフになります。
		90 分	1. スタンバイ機能がオフの状態での Wi-Off / 送信モードに設定すると、フラッシュは 90 分間アイドル状態が続いた後、自動的に電源がオフになります。 2. 受信モードに設定すると、フラッシュは 90 分間アイドル状態が続いた後、自動的に電源がオフになります。
	モデル	続行	発光時、モデリングランプは常時点灯します。
		中断	発光時、モデリングランプは自動的に消灯します。
	画面	/	画面の明るさは無段階で調整可能です。
		30 秒	30 秒間アイドル状態が続くと、画面がスタンバイになります。
		1 分	1 分間操作がない場合、画面はスタンバイ状態になります。
		2 分	2 分間操作がない場合、画面はスタンバイ状態になります。
		3 分	3 分間操作がない場合、画面はスタンバイ状態になります。
	ズーム	4/3	4/3 システム (V4800 のみ対応)
		APS	APS システム (V480F のみ対応)
		135	135 システム (V480C/V480S/V480N のデフォルト)
	新規同意 (V480S のみ対応)	オン	新しいプロトコルはデフォルトで有効になっています。
		オフ	フラッシュとカメラの互換性がない場合は、新しいプロトコルをオフにしてください。
	言語	簡体字中国語	簡体字中国語システム
		英語	英語システム
	工場出荷時設定にリセット	キャンセル	工場出荷時リセットをキャンセル
		適用	工場出荷時リセット
	デバイス情報	/	デバイスモデルおよびファームウェアバージョンを表示

ワイヤレスフラッシュ撮影 (2.4G ワイヤレス伝送)

本章では、V480 を送信ユニット (以下「送信ユニット」とする) として使用し、2.4G ワイヤレス伝送によるワイヤレス多灯フラッシュ撮影の方法について説明します。受信ユニット (以下「受信ユニット」とする) としては、2.4G ワイヤレス受信機能を備えた V480、AD100PRO、V100 などの Godox フラッシュを使用します。

- ▲ 1. 送信ユニットおよび受信ユニットのチャンネル、グループ、ID は同一に設定してください。詳細は上記のワイヤレス設定セクションをご参照ください。
- 2. 本章では V480C を例として説明します。他のモデル (V480S または V480N) では操作が異なる場合があります。

TTL:TTL 自動フラッシュモードによるワイヤレス多灯撮影

V480 (送信ユニット) のフラッシュグループ (A、B、C、D、E) を <TTL> に設定してください。受信ユニットの設定は不要で、自動フラッシュによるワイヤレス多灯フラッシュ撮影が行われます。送信ユニットで FEB 値を設定してください。受信ユニットでの設定は不要で、送信ユニットに従います。

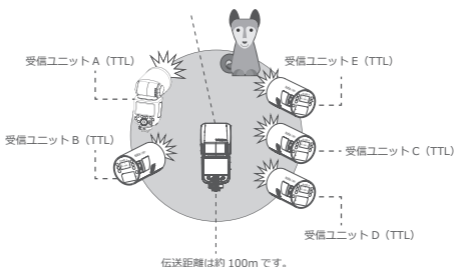
●複数受信ユニットによる自動フラッシュ撮影

送信ユニット

(フラッシュグループ A : TTL) (フラッシュグループ B : TTL)

(フラッシュグループ C : TTL) (フラッシュグループ D : TTL)

(フラッシュグループ E : TTL)



- ❶ V480 S / V480 N / V480 F / V480 O の送信グループにはグループ E はありません。

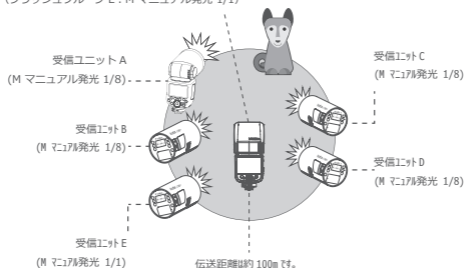
M:M マニュアルフラッシュモードによるワイヤレス多灯撮影

V480 (送信ユニット) のフラッシュグループ (A、B、C、D、E) を同一または異なる発光出力に設定してください。受信ユニットでの設定は不要で、送信ユニットに従いワイヤレス多灯フラッシュ撮影を行います。

●複数受信ユニットによるマニュアル発光撮影

送信ユニット

(フラッシュグループ A: M マニュアル発光 1/8) (フラッシュグループ B: M マニュアル発光 1/8)
(フラッシュグループ C: M マニュアル発光 1/8) (フラッシュグループ D: M マニュアル発光 1/8)
(フラッシュグループ E: M マニュアル発光 1/1)



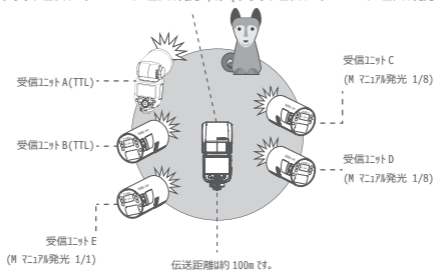
6 V480S / V480N / V480F / V480C の送信グループにはグループ E はありません。

異なるフラッシュモードでのワイヤレス多灯撮影

V480 (送信ユニット) のフラッシュグループ (A、B、C、D、E) をそれぞれ異なるフラッシュモードに設定すると、受信ユニット側の設定は不要で、各ユニットは異なるフラッシュモードでワイヤレス多灯フラッシュ撮影を行います。送信ユニットで FEB 値を設定してください。受信ユニットでの設定は不要で、送信ユニットに従います。

送信ユニット

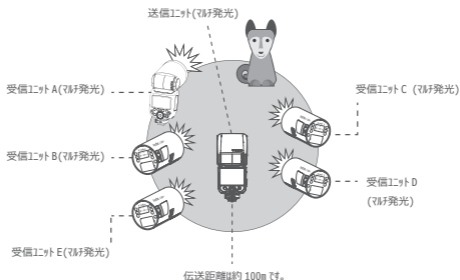
(フラッシュグループ A: TTL) (フラッシュグループ B: TTL) (フラッシュグループ C: M マニュアル発光 1/8) (フラッシュグループ D: M マニュアル発光 1/8) (フラッシュグループ E: M マニュアル発光 1/1)



6 V480S / V480N / V480F / V480C の送信グループにはグループ E はありません。

マルチフラッシュモードによるワイヤレス多灯撮影

V480（送信ユニット）をマルチ発光モードに設定すると、受信ユニット（A、B、C、D、E）は設定不要で、送信ユニットとともにワイヤレス多灯フラッシュ撮影を行います。送信ユニットで発光出力値、発光回数、発光周波数を設定すると、受信ユニットは設定不要で、送信ユニットに従います。各送信ユニットは最大5グループのマルチ発光を設定できます。



6 V480S / V480N / V480F / V480O の送信グループにはグループ E はありません。

その他の用途

シンクトリガー

シンクロコードジャックはΦ 2.5mm プラグです。ここにトリガープラグを挿入すると、フラッシュはカメラのシャッターと同期して発光します。

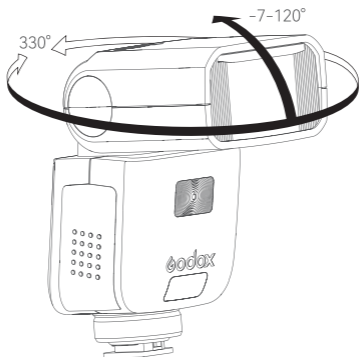
モデリングフラッシュ

カメラに被写界深度プレビューボタンがある場合、それを押すとフラッシュが1秒間連続発光します。これをモデリング発光と呼びます。被写体の影の効果やライティングバランスを確認することができます。ワイヤレスまたは通常のフラッシュ撮影時にモデリング発光を行うことができます。

- ▲ 1. フラッシュヘッドの過熱および劣化を防ぐため、モデリング発光を連続して10回以上行わないでください。モデリング発光を10回連続で行った場合は、カメラフラッシュを少なくとも10分間休ませてください。
- 2. Canon EOS 300 および Type-B カメラでは、モデリング発光は使用できません。
- 3. V480S、V480F、V480O はモデリング発光に対応していません。

バウンスフラッシュ

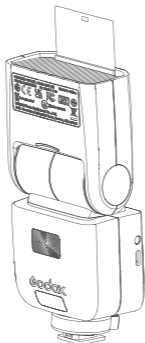
フラッシュヘッドを壁や天井に向けることで、フラッシュがその表面で反射し、被写体を照らします。これにより、被写体の背後の影が柔らかくなり、より自然な写真を撮影できます。これをバウンス発光と呼びます。



- 1. 壁や天井が遠すぎる場合、バウンスしたフラッシュが弱くなり、露出不足となることがあります。
- 2. 壁や天井は高い反射率を得るため、無地の白色であることが推奨されます。バウンス面が白色でない場合、写真に色かぶりが発生することがあります。

リフレクターを使用した撮影

フラッシュヘッドから内蔵リフレクターとワイドアングルディフューザーを同時に引き出し、その後ワイドアングルディフューザーを押し戻してください。この場合、本製品を使用して撮影すると、被写体の目にハイライトが生じ、目元を魅力的（キャッチライト）に演出できます。この機能は、フラッシュヘッドを90°上向きにした際に最適な効果を発揮します



ワイドアングルディフューザーを使用した撮影

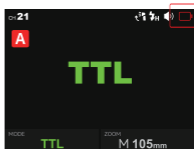
内蔵ワイドアングルディフューザーを引き出すことで、フラッシュの照射範囲が広がり、より柔らかく自然なライティング効果が得られます。



▲ ワイドアングルディフューザーを引き出すと、ズーム値は 14mm に固定されます。

バッテリー残量低下警告

バッテリー残量が少なくなると、**<□>** アイコンが赤色に変わります。直ちにバッテリーを交換または充電してください。



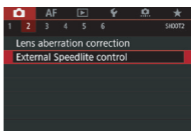
カメラのメニューによる制御 (V480C のみ対応)

カメラコントロール機能を備えた EOS カメラにカメラフラッシュを装着した場合、カメラのメニュー画面からフラッシュを制御できます。設定可能な機能は以下のとおりです。利用可能な設定は、フラッシュモード、ワイヤレスフラッシュ機能設定、その他の条件によって異なります。

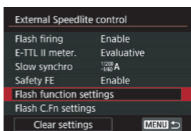
機能	
フラッシュ発光	オン/オフ
E-TTL バランス	雰囲気優先/標準/フラッシュ優先
TTL 測光	評価測光 (顔優先) / 評価測光 / 平均測光
連続フラッシュ制御	毎回 E-TTL 撮影 / 最初のみ E-TTL 撮影
絞り優先モードにおけるフラッシュ同調速度	
フラッシュモード	TTL フラッシュ測光 (オートフラッシュ) / マニュアル発光 / マルチ発光 (ストロボスコーピック)
ワイヤレス機能	ワイヤレスフラッシュ: オフ / 無線伝送
ズーム (発光カバー範囲)	
シャッター同調	先幕シンクロ / 後幕シンクロ / ハイスピードシンクロ
フラッシュ露出補正	

カメラフラッシュ機能の設定

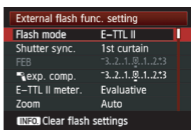
1.< フラッシュ制御 > または < 外部スピードライト制御 > を選択してください。



2.< フラッシュ機能設定 > または < 外部機能設定 > を選択してください。



3. 設定画面および表示項目は、カメラによって異なります。



1. すべてのカスタム機能設定を初期化するには、手順 2 で [設定のクリア] に入り、[すべてのスピードライト C.Fn のクリア] または [外部フラッシュ C.Fn 設定のクリア] を選択してください。
2. カメラフラッシュでフラッシュ露出補正がすでに設定されている場合、カメラでフラッシュ露出補正を設定することはできません。カメラで設定するには、カメラフラッシュのフラッシュ露出補正をゼロに設定してください。
3. フラッシュ露出補正以外のフラッシュカスタム機能やフラッシュ設定がカメラとフラッシュの両方で設定されている場合、最新の設定が有効となります。


グローバルシャッターシンク撮影(V480Sのみ対応)

V480S とグローバルシャッターイメージセンサー搭載カメラを組み合わせることで、カメラの全シャッタースピード範囲でフラッシュ撮影を同期させることができ、従来のハイスピードシンクロ撮影 (HSS) よりも効果的なフラッシュ露出が可能となります。

1.V480S をグローバルシャッター搭載カメラで TTL 自動発光モードにて使用する場合、低速および高速シャッタースピードのいずれでもフラッシュが正しく同期します。非グローバルシャッター搭載カメラと比較して、グローバルシャッター搭載カメラでは、HSS 発光時間が短く (約 2 ~ 5 ミリ秒)、リサイクルタイムが速くなり、より多くの撮影が可能です。

2.V480S を M (マニュアル) 発光モードで使用し、高速シャッター (1/600 より速いシャッタースピード) でシングルパルス発光 (HSS ではない) を行いたい場合、カメラのフラッシュ遅延時間を調整して露

光時間に合わせることで、より適切な光量で撮影できます。HSSモードと比較して、このモードでは同じ出力でより高いガイドナンバーが得られます。

フラッシュタイミング設定：カメラメニュー→ (露出/色) → [フラッシュ] → [フラッシュタイミング設定] → [オン] → フラッシュタイミングを希望の値に設定します。

ADJフラッシュタイミング設定メニュー：

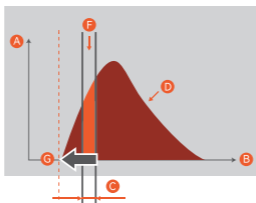
オン：フラッシュタイミングを手動で調整します(0マイクロ秒～1000マイクロ秒)。

オフ：フラッシュのタイミングを調整しません(シャッタースピードが1/600の場合、フラッシュは単一パルスフラッシュ以外で発光します)。

フラッシュとシャッターの同期方法

ハイスピードシャッター単発パルスフラッシュには、非常に厳密なタイミング合わせが必要です。図のように、フラッシュの最適な発光効果時にシャッターを開く必要があります。マッチング方法は以下の通りです。

フラッシュをM(マニュアル)発光モードに設定し、メニューに入り、カメラフラッシュタイミング設定でADJをオンにします。使用するカメラおよびフラッシュに応じたADJパラメータを入力します。V480SをA9MIIIで使用する場合、このパラメータはV480Sがワイヤレスオフ時で約140マイクロ秒、ワイヤレスオン時で約540マイクロ秒です(他のグローバルシャッターカメラを使用する場合は、常時マッチングして時間を決定する必要があります)。上記のパラメータを設定後、カメラのシャッタースピードを1/80000、発光パワーを1/256に調整してください(シャッタースピードが速く、発光パワーが低いほどマッチング要件が高くなります。適切な組み合わせを調整すれば、他の組み合わせでも通常適合します。高速シャッタースピードかつ高出力に設定した場合、フラッシュタイミングがシャッター時間よりもはるかに長いため、タイミングを後ろにずらし、フラッシュのピークを選択できます)。フラッシュが同期していない場合は、ADJパラメータを微調整して最適な露光時間に合わせ、その後他のシャッタースピードで撮影テストを行ってください



A : フラッシュ光量

D : 1/256 出力時のフラッシュ光量

B : 時間

F : 露光されたフラッシュ光量


C : シャッタースピード

G : フラッシュ発光開始タイミング

- ▲ 1. カメラのシャッタースピードを 1/10000 より速く設定して撮影した場合、明るさや色味が変化することがあります。
2. グローバルシャッターイメージセンサー搭載カメラの場合、ハイスピードシンクロ設定が [ON] または [OFF] であっても、パネルに HSS アイコンは表示されません。
3. フラッシュをシンクロコードでカメラに接続した場合、グローバルシャッターシンクロではなく従来のハイスピードシンクロで撮影されるため、フラッシュ光が届く距離が短くなります。

保護機能

過熱保護

- フラッシュヘッドの過熱および劣化を防ぐため、1/1 フルパワーで下記回数以上の連続発光や、HSS モードで 1/1 フルパワーによる 60 回以上の連続発光は行わないでください。
- 記載された回数以上にフラッシュを発光し、さらに短い間隔で発光を繰り返した場合、内部の過熱保護機能が作動し、リサイクルタイムが 10 秒を超えることがあります。この場合は、約 10 分間休ませてください。その後、フラッシュユニットは正常に戻ります。
- 過熱保護が作動すると、LCD ディスプレイにアイコン <  > が表示されます。

過熱保護が作動する発光回数：

フラッシュ回数 発光 パワー	焦点 距離	14mm	24mm	28mm	35mm	50mm	70mm	80mm	105mm
1/1		30	40	50	60	60	75	75	80
1/2		46	60	75	91	91	114	114	120
1/4		91	120	150	182	182	231	231	240
1/8		240	300	300	300	300	300	300	300
1/16		600	600	600	600	600	600	600	600
1/32		1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200	1200
1/64		2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000	2000
1/128		3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000	3000
1/256									

HSS モードで過熱保護が作動する発光回数：

出力レベル	発光回数
1/1	60
1/2	75
1/4	100
1/8	
1/16	
1/32	
1/64	
1/128	
1/256	

その他の保護機能

本システムは、機器およびお客様の安全を確保するため、リアルタイムで保護機能を提供します。以下に参考となるプロンプトを一覧で示します。

ディスプレイ	意味
エラー 1	リサイクルシステムに異常が発生し、フラッシュが発光できません。フラッシュユニットを再起動してください。問題が解決しない場合は、本製品をメンテナンスセンターへお送りください。
エラー 3	フラッシュチューブの2つの端子間の電圧が高すぎます。本製品をメンテナンスセンターへお送りください。
エラー 5	フラッシュ回路に異常があります。本製品をメンテナンスセンターへお送りください。
エラー 9	アップグレード処理中にエラーが発生しました。正しいファームウェアアップグレード方法をご使用ください。

Godox 2.4G ワイヤレスで発光しない場合の原因と対策

1. 外部環境の2.4G 信号(例:ワイヤレス基地局2.4G Wi-Fiルーター、Bluetooth 等) による干渉

→ フラッシュトリガーのチャンネル CH 設定 (10 以上のチャンネルを追加) を調整し、干渉のないチャンネルをご使用ください。または、動作中の他の 2.4G 機器の電源を切ってください。

2. フラッシュがリサイクルを完了しているか、連続撮影速度に追従しているか (発光準備インジケータが点灯している)、およびフラッシュが過熱保護やその他の異常状態になっていないことを必ずご確認ください。

→ 発光パワーの出力を下げてください。フラッシュが TTL モードの場合は、M モードに変更してお試しください (TTL モードではプリ発光が必要です)。

3. フラッシュトリガーとフラッシュの距離が近すぎないか (<0.5m) をご確認ください。

→ 「近距離ワイヤレスモード」をオンにしてください。

→ バッテリーを交換するか、速やかに充電してください。

→ ファームウェアのアップグレード方法については取扱説明書を参照し、フラッシュトリガーのファームウェアをアップグレードしてください。

→ カメラの取扱説明書を参照し、ファームウェアをアップグレードしてください。

X1 シリーズ：トリガーボタンを押し続けたまま電源を入れ、インジケーターが2回点滅するまでお待ちください。

Xpro および X2T シリーズ：C.Fn-DIST を 0-30m に設定してください。

X3 シリーズ：トリガー距離を 0-30m に設定してください。

4. フラッシュトリガーおよび受信機器がバッテリー残量低下状態でないかご確認ください。

→ バッテリーを交換するか、速やかに充電してください。

5. フラッシュトリガーのファームウェアが旧バージョンである可能性があります。

→ ファームウェアのアップグレード方法については取扱説明書を参照し、フラッシュトリガーのファームウェアをアップグレードしてください。

6. カメラのファームウェアが旧バージョンである可能性があります。

→ カメラの取扱説明書を参照し、ファームウェアをアップグレードしてください。

技術データ

モデル	V480 C	V480 S	V480 N
グローバルシャッターシンク撮影	未提供	提供	未提供
無線グローバルシャッターシンク撮影	未提供	提供	未提供
モデリングフラッシュ	提供	未提供	提供
発光カバー範囲	オートズーム（発光カバー範囲はレンズの焦点距離および画像サイズに自動的に設定されます） マニュアルズーム（24-105mm）		

モデル	V480 O	V480 F
グローバルシャッターシンク撮影	未提供	
無線グローバルシャッターシンク撮影	未提供	
モデリングフラッシュ	未提供	
発光カバー範囲	オートズーム（発光カバー範囲はレンズの焦点距離および画像サイズに自動的に設定されます）マ ニユアルズーム（24-10 5mm または 12-52mm）	
		マニュアルズーム （24-105mm または 16-69mm）






モデル	V480 C/V480 S/V480 N/V480 F/V480 O
ガイドナンバー (1/1 ステップ、105 mm 焦点距離)	約 GN50 (ISO 100、メートル)
フラッシュヘッド角度	フラッシュヘッドのスイング/チルト (パウンス発光) : 0 ~ 330° 水平方向 0 ~ 330°、垂直方向 -7° ~ 120°
フラッシュ継続時間 (t0.1)	1/600 秒 ~ 1/20000 秒
露出制御	
露出制御システム	TTL 自動発光およびマニュアル発光
フラッシュ露出補正 (FEC)	± 3 段階 (1/3 段階ごと)
シンクモード	ハイスピードシンクロ (最大 1/8000 秒、またはグローバルシャッター搭載のソニー製カメラでは最大 1/80000 秒)、先幕シンクロ、後幕シンクロ
マルチフラッシュ	搭載 (最大 100 回、100Hz)
ワイヤレスフラッシュ (2.4G 無線伝送)	
ワイヤレス機能	送信機、受信機
送信グループ	A、B、C、D、E (V480 C) M、A、B、C、D (V480 S / V480 N / V480 O / V480 F)
受信グループ	A、B、C、D、E
伝送範囲 (約)	100m
チャンネル	32: 01~32
ID	OFF/01~99
LED モデリングランプ	
電源	2W
色温度	5300K ± 300K
電源	
リチウムバッテリー	7.2V/2200mAh
リサイクルタイム	約 1.7 秒フラッシュの準備が完了すると、LED インジケーターが点灯します。
発光回数 (1/1 ステップ)	約 650 回
省電力	スタンバイ機能および自動電源オフ機能を搭載
シンクロトリガーモード	ホットシュー、2.5mm シンクロコード
寸法	
幅×高さ×奥行	6.54"×2.8"×1.93"
バッテリー非装着時質量	約 282g
バッテリー装着時質量	約 361g

仕様およびデータは予告なく変更される場合があります。

トラブルシューティング

問題が発生した場合は、本トラブルシューティングガイドをご参照ください。

カメラフラッシュが発光しません。

- カメラのマウントフットをカメラに確実に取り付けてください。
- カメラフラッシュおよびカメラの電気接点が汚れている場合は、乾いた布で接点を清掃してください。
- カメラのファインダーに <  > または <  > が表示されない場合、フラッシュが完全にリサイクルされ、発光準備インジケーターが点灯するまでお待ちください。
- 発光準備インジケーターが点灯しているにもかかわらず、ファインダーに <  > または <  > が表示されない場合は、本フラッシュユニットがカメラのホットシューに確実に取り付けられているかご確認ください。
- 長時間待っても発光準備インジケーターが点灯しない場合は、バッテリー残量が十分かご確認ください。バッテリー残量が少ない場合、LCDパネル上に <  > が赤色で表示されます。直ちにバッテリーを交換または充電してください。

電源が自動的にオフになります。

- スタンバイ機能がオンの状態で Wi-Off / 送信モードに設定すると、フラッシュは 90 秒間操作がないと自動的にスリープモードに入ります。カメラのシャッターを半押しするか、いずれかのボタンを押すことでフラッシュユニットが復帰します。
- スタンバイ機能がオフで自動電源オフ機能がオンの場合、Wi-Off / 送信モードに設定すると、フラッシュは 60 分（または 30 分、90 分）間操作がないと自動的に電源が切れます。フラッシュユニットを再起動してください。
- 受信モードに設定し、自動電源オフ機能がオンの場合、フラッシュは 60 分（または 30 分、90 分）間操作がないと自動的に電源が切れます。フラッシュユニットを再起動してください。

オートズームは動作しません。

- カメラフラッシュのマウント部をカメラに取り付けてください。フラッシュ露出がアンダーまたはオーバーになっています。

フラッシュ露出がアンダーまたはオーバーになっています。

- ハイスピードシンクロを使用しました。ハイスピードシンクロ時は、有効なフラッシュ範囲が短くなります。被写体が表示されている有効なフラッシュ範囲内にあることを確認してください。
- 被写体が暗すぎる、または明るすぎる場合があります。適切な FEC 値を設定してください。

写真に暗い隅ができる、または被写体の一部のみに照射されています。

- レンズの焦点距離が発光カバー範囲を超えています。設定した発光カバー範囲を確認してください。本フラッシュユニットの発光カバー範囲は 24 ~ 105mm であり、中判カメラに対応しています。
- 発光カバー範囲を自動フラッシュズームに設定してください。

ファームウェアアップグレード

- 本製品は USB-C ポートを使用したファームウェアアップグレードに対応しています。USB-C ケーブル (別売) をご使用ください。
- ファームウェアアップグレードには Godox G3 V1.1 ソフトウェアのサポートが必要です。アップグレードの前に「Godox G3 V1.1 ファームウェアアップグレードソフトウェア」をダウンロードし、インストールしてください。その後、該当するファームウェアファイルを選択してください。
- 最新の電子版取扱説明書をご参照ください。
- ファームウェアアップグレードのダウンロードサイトは以下の通りです。
<https://www.godox.com/firmware-G3/>

対応カメラ機種

V480 C は、以下の Canon EOS シリーズカメラでご使用いただけます。

80D、90D、7D、6D、70D、750D、760D、5D Mark IV、EOS 1DX、6D Mark II、77D、800D、5D Mark III、5D Mark II、60D、7D Mark II、600D、50D、30D、40D、500D、M5、M3、M50、R、RP、M6 II、R5、1500D、3000D、R7、R6 II、R50、R8、R5C、R10、R100、R5 II、R3、200D II

V480 S は、以下の Sony カメラでご使用いただけます。

α 77 II、α 99、α 77、DSC-RX10、α 6000、α 7R、α 350、α 7R II (4.0)、α 7R III、α 7M3、α 9、α 7R IV、α 7R5、α 7M IV、ZV-E10、A9 III、A7C、A7C II、α 6400、α 6500

V480 N は、以下の Nikon カメラでご使用いただけます。

D800、D750、D700、D610、D500、D200、D300S、D5、D4、D810、D780、D5300、D5200、D5100、D5000、D3300、D3100、D60、Z6、Z7 II、Z8、ZFC

V480 O は、以下の Olympus または Panasonic カメラでご使用いただけます。

オリンパス: E-M1、PEN-F、E-M10 II、E-PL8、E-P5、E-M10 III

パナソニック: GH4、LX100、DMC-GF1、DMC-G85、DMC-GX85、DMC-LX100、DMC-FZ2500GK、S1

V480 F は、以下の富士フィルム製カメラモデルでご使用いただけます。

富士フィルム製カメラは、カメラフラッシュの制御方式の違いにより、3種類に分類されます。

A : X-Pro2、X-T20、X-T2、X-T1、GFX50s、GFX50R、X-T30、X-T4、X-T3、X-S20、X-T5

B : X-Pro1、X-T10、X-E1、X-A3

C : X100F、X100T

対応カメラ機種および機能対応：

カメラ	カメラフラッシュ						
	TTL フラッシュ			M フラッシュ			マルチ
	前面	後面	HSS	前面	後面	HSS	
A	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
B	✓	✓	--	✓	--	--	✓
C	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓

カメラ	2.4G ワイヤレス制御						
	TTL フラッシュ			M フラッシュ			マルチ
	前面	後面	HSS	前面	後面	HSS	
A	✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓
B	✓	✓	--	✓	✓	--	✓
C	✓	--	--	✓	--	--	✓

- ❶** 1. X100T は、後幕シンクロ（REAR）および高速連写機能を搭載していません。
 2. X-Pro1 および X-T10 は、高速連写機能を搭載していません。M マニュアル発光モードでは、前幕シンクロ（FRONT）および後幕シンクロ（REAR）の調整はできません。

- ❶** 1. 本表はテスト済みのカメラモデルのみを記載しており、すべてのカメラを網羅しているわけではありません。その他のカメラモデルとの互換性については、ご自身の動作確認を推奨いたします。
 2. 本表の内容は予告なく変更される場合があります。

保証

お客様各位、本保証書は当社のメンテナンスサービスを申請する際の重要な証明書となりますので、販売店とご協力のうえ、下記のフォームにご記入いただき、大切に保管してください。ありがとうございます。

製品 情報	モデル 名	製品コード番号 連絡先番号
お客様 情報	住所	
	氏名	
販売店 情報	連絡先番号	
	住所	
	販売日	
注意		

注意：本用紙は販売者によって押印されるものとします。

対象製品

本書は、製品メンテナンス情報に記載されている製品に適用されます（詳細は下記をご参照ください）。その他の製品や付属品（例：販促品、景品、追加付属品等）は本保証の対象外です。

保証期間

製品および付属品の保証期間は、関連する製品メンテナンス情報に基づき実施されます。保証期間は、製品が初めて購入された日（購入日）から起算され、購入日は製品購入時に保証書に記載された日付とみなされます。

メンテナンスサービスの受け方

メンテナンスサービスが必要な場合は、製品販売代理店または認定サービス機関に直接ご連絡ください。また、Godox アフターサービス窓口にご連絡いただければ、サービスをご提供いたします。メンテナンスサービスを申請する際は、有効な保証書をご提示ください。有効な保証書をご提示いただけない場合でも、製品または付属品がメンテナンス対象であることが確認された場合には、メンテナンスサービスを提供することがありますが、これは当社の義務とはみなされません。

適用除外の場合

本書に記載された保証およびサービスは、以下の場合には適用されません：
①製品または付属品の保証期間が満了している場合；②不適切な使用、保守または保管（不適切な梱包、不適切な使用、外部機器の不適切な接続・取り外し、落下や外力による圧迫、不適切な温度、溶剤、酸、アルカリ、水没や湿気が多い環境への接触または曝露等）による破損または損傷；③非認定機関または担当者による設置、保守、改造、追加、取り外しの過程で生じた破損または損傷；④製品または付属品の元の識別情報が変更、改ざん、または削除されている場合；⑤有効な保証書がない場合；⑥による破損または損傷違法に認可された、非標準または非公開のソフトウェアを使用した場合；⑦不可抗力または事故による破損や損傷；⑧製品自体に起因しない破損または損傷。上記の状況に該当する場合は、関係する責任当事者にご相談

談ください。Godox は一切の責任を負いかねます。保証期間外または保証範囲外の部品、付属品、ソフトウェアによる損傷は、当社のメンテナンス対象外となります。通常の変色、摩耗および消耗は、メンテナンス対象の破損には該当しません。

メンテナンスおよびサービスサポート情報

製品の保証期間およびサービス種別は、以下の製品メンテナンス情報に基づき実施されます。

製品タイプ	氏名	メンテナンス期間 (月)	保証サービス種別
部品	回路基板	12	お客様が指定された場所へ製品を送付 e
	バッテリー	3	お客様が指定された場所へ製品を送付
	電気部品 (例: バッテリー充電器等)	12	お客様が指定された場所へ製品を送付
その他項目	フラッシュチューブ、モデリングランプ、ランプ本体、ランプカバー、ロック装置、パッケージ等	該当なし	保証対象外

Godox アフターサービスコール +86-755-29609320(8062)